



## 2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社イメージ・マジック 上場取引所 東  
コード番号 7793 URL <https://imagemagic.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 誠  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗原 俊幸 TEL 03(6825)7510  
定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年3月29日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期の業績（2023年5月1日～2023年12月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	4,376	—	344	—	342	—	220	—
2023年4月期	5,291	8.1	69	△77.2	76	△73.3	48	△79.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	95.27	87.73	15.5	13.6	7.9
2023年4月期	21.19	19.55	3.8	3.3	1.3

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 -百万円 2023年4月期 -百万円

(注) 当社は2023年7月28日開催の第28期定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、当事業年度より決算期を4月30日から12月31日に変更しました。よって、経過期間となる当事業年度は2023年5月1日から2023年12月31日までの8ヶ月決算となるため、通期の対前期増減率を記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	2,685	1,534	57.1	663.29
2023年4月期	2,335	1,313	56.2	567.99

(参考) 自己資本 2023年12月期 1,534百万円 2023年4月期 1,313百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	425	△347	104	862
2023年4月期	131	△240	△167	679

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,540	—	150	—	148	—	92	—	39.76

（注）当事業年度は決算期変更により、2023年5月1日から2023年12月31日までの8ヶ月間となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	2,313,671株	2023年4月期	2,312,353株
② 期末自己株式数	2023年12月期	56株	2023年4月期	33株
③ 期中平均株式数	2023年12月期	2,313,076株	2023年4月期	2,311,610株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(追加情報) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は、2023年7月28日に開催された第28期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2023年度より決算期を4月30日から12月31日に変更しております。これに伴い、その経過期間となる当事業年度の期間は、2023年5月1日から2023年12月31日までの8ヶ月間となっております。このため、前年同期比較については記載しておりません。

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束による経済活動の正常化やインバウンド需要の回復など、景気は回復傾向にあるものの、出口の見えないロシア・ウクライナ情勢、欧米の金融引き締めによる影響、中国景気の減速などにより、経済情勢は依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社の属するオンデマンドプリント業界におきましては、コロナ禍を契機として人々の生活様式の変化が加速し、オンラインの消費活動が定着したことにより衣料・服飾雑貨及び生活雑貨等のEC市場は急成長を遂げ、その市場規模の拡大が続いております。

また、EUにおいて売れ残りの衣料品の廃棄を禁止する法案成立の動きがみられるなど地球環境に対する負荷の低減に向けてSDGsへの意識が高まるなか、アパレルメーカー等では無駄な在庫を作らない小ロット生産へのシフトが進んでおり、環境に配慮したモノづくりが求められております。

当社は、「個性と創造性溢れる豊かな社会作りに貢献します。」を経営理念として、システムを活用したモノづくりのDX会社として事業を展開しております。

当社の展開するサービス内容としては、インターネットを利用して行うアパレルや雑貨を主とした商品へのオンデマンドプリントサービス及びオンデマンドプリントの仕組みであるソフトウェアやハードウェアをアパレルメーカー、印刷会社などの事業者へ提供するソリューションサービスであります。

持続的に高品質で利便性の高いサービスを提供するため、小ロット受注に対応したソフトウェアとシステムで制御できるハードウェアの開発を進めております。

また、在庫を限りなくなくし必要なときに必要な分だけ生産するとともに生産工程自動化の推進により、受注から生産、出荷までのリードタイムの短縮により無駄な物を生産しない環境に配慮したモノづくりと顧客満足との同時追求により社会に貢献できるよう努めております。

このような環境の中、オンデマンドプリントサービスでは、様々な顧客ニーズに対応し、オンデマンド生産できるアイテムを拡充すべく新商品の取扱いを強化し、アイテムラインナップを拡げてまいりました。当事業年度において家庭用アイロンでキャラクターの絵柄を綿・ポリエステル・ナイロンなどの幅広い素材にプリントできるアイロンプリントシート「キャラぴた」の販売を開始いたしました。

当事業年度において、オンデマンドプリントサービスの売上高は3,962,177千円となりました。

また、ソリューションサービスでは、ハードウェアとしてオンデマンド転写プリンター「TransJet」及びデザインシミュレーター付クラウド型オンデマンドEC「makertown」の拡販に努めてまいりました。

当事業年度において、利益率の高い取引や1件当たりの取引額が大きい取引が含まれるハードウェアに係る売上高が379,955千円となり、ソリューションサービスの売上高は414,753千円となりました。

コスト面では運送費およびシステム運用費が増加したものの、材料費の減少及び外注を効果的に使うことにより人材派遣費、人件費を抑えられたことなどにより利益率が向上する結果となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は4,376,930千円、営業利益は344,145千円、経常利益は342,131千円、当期純利益は220,367千円となりました。

なお、当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は2,685,553千円となり、前事業年度末と比較して350,538千円の増加となりました。

## (流動資産)

当事業年度末における流動資産は1,762,400千円となり、前事業年度末と比較して330,027千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加182,946千円、売掛金及び契約資産の増加67,254千円、商品及び製品の増加56,689千円があったことによるものであります。

## (固定資産)

当事業年度末における固定資産は923,153千円となり、前事業年度末と比較して20,510千円の増加となりました。これは主に投資その他の資産の工場の新設等に係る敷金及び保証金の増加17,484千円によるものであります。

## (流動負債)

当事業年度末における流動負債は819,884千円となり、前事業年度末と比較して37,306千円の増加となりました。これは主に未払金が135,886千円減少したものの、未払法人税等の増加53,452千円、未払消費税等の増加24,957千円、未払費用の増加63,766千円、1年内返済予定の長期借入金の増加16,747千円によるものであります。

## (固定負債)

当事業年度末における固定負債は331,068千円となり、前事業年度末と比較して91,998千円の増加となりました。これは主に長期借入金の増加103,988千円によるものであります。

## (純資産)

当事業年度末における純資産は1,534,600千円となり、前事業年度末と比較して221,232千円の増加となりました。これは主に当期純利益の計上220,367千円による利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は862,485千円となり、前事業年度末と比較して182,946千円の増加となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、425,317千円（前事業年度は131,426千円の獲得）となりました。これは主に資金減少要因である棚卸資産の増加70,588千円、売上債権及び契約資産の増加67,254千円があった一方で、資金増加要因である税引前当期純利益の計上301,237千円、減価償却費133,638千円、その他の流動負債の増加101,721千円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、347,266千円（前事業年度は240,192千円の使用）となりました。これは主に、工場の設備投資として機械及び装置である有形固定資産の取得による支出305,213千円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、104,895千円（前事業年度は167,640千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金による収入200,000千円があった一方で、約定による長期借入金の返済による支出79,265千円、リース債務の返済16,705千円があったことによるものです。

## (4) 今後の見通し

生産体制の自動化、省力化を進めるため、AIやロボティクスの開発導入を積極的に進めるため高度な知見を有する人材の採用、研究開発に注力してまいります。

オンデマンドプリントサービスでは、コロナ禍収束に伴い開催された各種コンサートや舞台等のエンターテインメント及びスポーツ大会といったイベントが一巡するもののオリジナルグッズの受注が増加していくものと見込んでおります。

ソリューションサービスでは、当社の培ったノウハウをソフトウェア、ハードウェアの販売を通じて、提供していくことで、更なる市場拡大を目指してまいります。

2024年12月期の通期業績予想につきましては、売上高6,540,000千円、営業利益150,000千円、経常利益148,000千円、当期純利益92,000千円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の国際会計基準の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当事業年度 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	679,539	862,485
売掛金及び契約資産	388,360	455,614
商品及び製品	51,822	108,511
仕掛品	31,452	35,938
原材料及び貯蔵品	168,907	158,027
前渡金	55,206	76,058
前払費用	40,091	46,511
その他	17,613	19,935
貸倒引当金	△621	△683
流動資産合計	1,432,372	1,762,400
固定資産		
有形固定資産		
建物	190,355	236,092
減価償却累計額	△34,669	△39,484
建物(純額)	155,685	196,607
機械及び装置	781,722	705,645
減価償却累計額	△487,613	△310,125
機械及び装置(純額)	294,108	395,520
車両運搬具	4,510	5,230
減価償却累計額	△4,019	△4,707
車両運搬具(純額)	490	523
工具、器具及び備品	21,516	27,078
減価償却累計額	△11,994	△15,086
工具、器具及び備品(純額)	9,522	11,991
リース資産	130,454	108,004
減価償却累計額	△61,140	△67,186
リース資産(純額)	69,313	40,818
建設仮勘定	192,297	65,423
有形固定資産合計	721,419	710,885
無形固定資産		
ソフトウエア	42,871	32,289
その他	16,886	35,628
無形固定資産合計	59,758	67,918
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	2,431	2,676
繰延税金資産	45,798	50,952
敷金及び保証金	73,050	90,534
その他	175	175
投資その他の資産合計	121,465	144,349
固定資産合計	902,642	923,153
資産合計	2,335,015	2,685,553

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当事業年度 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	185,746	225,932
1年内返済予定の長期借入金	80,574	97,321
リース債務	20,788	18,997
未払金	251,898	116,012
未払費用	104,969	168,735
未払法人税等	15,595	69,048
未払消費税等	19,656	44,613
前受金	47,557	49,378
預り金	15,987	14,302
賞与引当金	29,976	-
商品保証引当金	9,826	14,083
資産除去債務	-	1,389
その他	1	69
流動負債合計	782,577	819,884
固定負債		
長期借入金	145,290	249,278
リース債務	57,897	43,097
資産除去債務	35,882	38,693
固定負債合計	239,069	331,068
負債合計	1,021,647	1,150,953
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	301,772	302,222
資本剰余金		
資本準備金	456,635	457,085
その他資本剰余金	19,371	19,371
資本剰余金合計	476,006	476,456
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	535,662	756,029
利益剰余金合計	535,662	756,029
自己株式	△73	△107
株主資本合計	1,313,368	1,534,600
純資産合計	1,313,368	1,534,600
負債純資産合計	2,335,015	2,685,553

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,291,714	4,376,930
売上原価		
商品期首棚卸高	102,529	51,822
当期商品仕入高	255,303	310,228
当期製品製造原価	3,291,232	2,503,380
合計	3,649,065	2,865,430
他勘定振替高	—	10,587
商品及び製品期末棚卸高	51,822	108,511
商品及び製品売上原価	3,597,243	2,746,331
売上総利益	1,694,471	1,630,599
販売費及び一般管理費	1,624,986	1,286,453
営業利益	69,484	344,145
営業外収益		
補助金収入	2,713	—
受取補償金	4,071	—
原材料受贈益	2,227	—
固定資産受贈益	1,542	—
受取手数料	—	600
債務勘定整理益	670	382
その他	502	762
営業外収益合計	11,728	1,745
営業外費用		
支払利息	3,734	2,287
その他	746	1,471
営業外費用合計	4,481	3,759
経常利益	76,732	342,131
特別利益		
固定資産売却益	1,315	—
特別利益合計	1,315	—
特別損失		
固定資産除却損	2,617	22,434
減損損失	—	18,458
特別損失合計	2,617	40,893
税引前当期純利益	75,430	301,237
法人税、住民税及び事業税	48,006	86,024
法人税等調整額	△21,569	△5,154
法人税等合計	26,437	80,870
当期純利益	48,992	220,367

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	301,236	456,099	19,371	475,470	486,669	486,669	△73	1,263,303	1,263,303
当期変動額									
新株の発行	536	536		536				1,072	1,072
自己株式の取得								—	—
当期純利益					48,992	48,992		48,992	48,992
当期変動額合計	536	536	—	536	48,992	48,992	—	50,064	50,064
当期末残高	301,772	456,635	19,371	476,006	535,662	535,662	△73	1,313,368	1,313,368

当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	301,772	456,635	19,371	476,006	535,662	535,662	△73	1,313,368	1,313,368
当期変動額									
新株の発行	449	449		449				899	899
自己株式の取得							△33	△33	△33
当期純利益					220,367	220,367		220,367	220,367
当期変動額合計	449	449		449	220,367	220,367	△33	221,232	221,232
当期末残高	302,222	457,085	19,371	476,456	756,029	756,029	△107	1,534,600	1,534,600

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	75,430	301,237
減価償却費	192,074	133,638
減損損失	—	18,458
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△399	62
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,228	△29,976
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	9,826	4,257
支払利息	3,734	2,287
補助金収入	△2,713	—
固定資産売却益	△1,315	—
固定資産受贈益	△1,542	—
固定資産除却損	2,617	22,434
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△57,269	△67,254
棚卸資産の増減額 (△は増加)	70,427	△70,588
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△33,637	△34,385
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,301	40,186
前受金の増減額 (△は減少)	22,613	1,821
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△61,980	101,721
その他	8,364	28,223
小計	258,760	452,126
利息の支払額	△3,734	△2,336
補助金の受取額	2,713	—
法人税等の支払額	△126,320	△24,424
その他	7	△47
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>131,426</b>	<b>425,317</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△221,885	△305,213
有形固定資産の売却による収入	25,171	—
無形固定資産の取得による支出	△35,023	△23,706
敷金及び保証金の差入による支出	△8,164	△24,917
敷金及び保証金の回収による収入	—	7,432
資産除去債務の履行による支出	△290	△862
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△240,192</b>	<b>△347,266</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△115,868	△79,265
長期借入れによる収入	—	200,000
リース債務の返済による支出	△52,845	△16,705
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,072	899
その他	—	△33
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△167,640</b>	<b>104,895</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△276,406	182,946
現金及び現金同等物の期首残高	955,945	679,539
現金及び現金同等物の期末残高	679,539	862,485

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

**【セグメント情報】**

当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	567.99円	663.29円
1株当たり当期純利益	21.19円	95.27円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	19.55円	87.73円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	当事業年度 (自 2023年5月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	48,992	220,367
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	48,992	220,367
普通株式の期中平均株式数(株)	2,311,610	2,313,076
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	193,865	198,879
(うち新株予約権(株))	(193,865)	(198,879)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。